JAIC WHITE PAPER

web説明会＆web面接ツール 導入サポート＆比較レポート

<新型コロナウイルス対応2020年3月版>

Powered by JAIC

Web
説明会・面接ツール

新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、急遽注目を集めているweb説明会やweb面接
最新の調査*1では、すでに就活生の50％以上は就職活動や大学の講義、イベントなどで、
「webセミナー」を経験済み。また、20％が「まだ経験はしていないが予約済み」と
なっており、想像以上に普及率は高いことが分かります。

また、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中で、56％の学生が「会社説明会のweb化
を望む」としており、学生のニーズにも副っています。なお、「web化を望む」割合は
グループ面接は27％、個別面接は30％と、会社説明会の半分程度です。今後変わる可能
性はありますが、まずは「会社説明会のweb化」に一番に取り組むと良いでしょう。

web説明会を実施することは、

１．新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、説明会を中止にせざるを得ない中で、
　　対面ではない形で学生との接点、情報発信をできる

２．学生からすると、前後の移動時間がなくなるため参加しやすい
　　「地方学生」はもちろん「郊外型のキャンパスに在学する学生」、
　　「授業の合間に参加する学生」などを取り込めるようになる

３．リアル説明会よりも短時間の開催（40分が適切）となるため、
　　説明会の回数を増やしたり、時間的な生産性をあげることができる

といったメリットがあります。

セミナー等のweb配信は、数年前までは通信速度で音声が乱れる、画像がうまく動かな
いなどの問題がありました。それに伴って、通信環境の伴った設備、少し専門的な機材、
それらを設定・操作してくれる知識を持ったスタッフなどが必要でした。

しかし、今では、

・ノートパソコンの内蔵カメラ

・PC接続用のマイク
　※PC内臓のマイクでも可能ですが、PCから多少離れて座ることも考えると、
　　外付けのマイクがおススメです。ECサイトや電器店で数千円で購入可能です

があれば、web説明会の開催が可能になりました。あとは実施する中で、

・照明
　（普通の部屋ですと顔が暗く映りがちです。これも数千円で購入できます）

・有線LAN
　（無線でも大丈夫ですが、有線のほうが安定します）

ぐらいがあれば十分です。

Web
説明会・面接ツール

ただし、すべてweb化すればいいというわけではありません。調査では「同じ会社でweb説明会とリアルな説明会、どちらを優先的に参加したいですか？」という設問に

＜新型コロナウイルスの感染拡大が続く場合＞
web説明会を積極的に利用する　44％
リアルな説明会を積極的に利用する　32％

＜新型コロナウイルスの感染拡大が感染に収束した、なかった場合＞
web説明会を積極的に利用する　20％
リアルな説明会を積極的に利用する　56％

という回答でした。新型コロナウイルスの感染拡大する状況下でも、32％の学生は「リアルな説明会を優先したい」、新型コロナウイルスの拡大が収束した場合には、web説明会の3倍近い割合で「リアルな説明会を優先したい」と答えています。アンケート回答を見ても、

『Web化だと交通費も浮くし、ウイルス蔓延の心配もないのでありがたい』
『web面接やセミナーを増やして行くべきだと思う。
地方の学生も関東の会社の説明会に参加できるし、時間の短縮ができる』
『コロナウィルスある無しに関わらず、
ちょっと気になるくらいの会社に関しては、ウェブがいいなと思います』

といった声がある一方で、

『直接参加した方が雰囲気や臨場感なども違うため、とりやめないでほしい』
『リアルでの面接でしっかり熱意を伝えたいです』
『直接お会い出来ないことによって、社員の方の雰囲気を肌で感じることが出来なくなることが懸念点です。また、就活生側の私と致しましても、直接私の雰囲気を感じ取っていただけない懸念点があり、心配です』
『実際に企業の方と会う機会が減ってしまうと会社風土などが感じにくくなってしまうのではないかと感じています』
『Web上開催だと、オフィスの雰囲気、社員の人柄を知ることができないから、あまり好きではない』
『説明会はWebでも構わないが、面接などの実際の選考は対面式で開催していただきたいです』

といった声もあります。従って「web説明会とリアルな説明会を併用する」やweb説明会に加えて「気軽に話せる双方向のweb座談会の開催」や「オフィスや社員の写真などを発信する」などの工夫をすると良いでしょう。

*1：調査概要
【21卒対象】新型コロナウィルスの感染拡大に関する就活意識調査
対象　：特性マッチングサイトFutureFinderに登録する2021卒の就活生
回答者数　：244名
期間　：2020年2月26日18時-2月27日13時

Web
説明会・面接ツール

■web説明会ツールの一般的な機能

一般的にweb説明会ツールに求められる機能は以下のようなものです。

・参加者へのURL発行

基本的にツール内で参加受付フォームを作成、自動でURL発行できます
Youtubeやfacebookなどで拡散・一般公開するものとは異なり、
「会社説明会の資料等はあまり一般公開したくない」という会社も多いでしょう。

・動画のリアルタイム配信

ノートパソコンの内蔵カメラ（もしくは外付け）で撮っている画像を配信します。

・資料（画面）共有

動画と併せて、リアルの説明会でいう「投影資料」を参加者に共有する機能です。
動画と資料（画面）共有の2つがあることで、説明会で「パワーポイントを投影しながら喋る」場合と同じ感覚でweb説明会を行えます。

・チャット機能

参加者からテキストチャットで質問やコメントをもらうことできます。
「手を挙げる」「発言する」ことが必要ないため、リアルな説明会よりも
質問が出やすい場合もあります。

この他、ツールによって、「録画」「セミナー内でのアンケートや投票」など、様々な機能がありますが、上記の４機能があれば、まずはweb説明会の開催には十分です。
また、「1対多で使えるweb面接ツールを会社説明会で使う」ことも可能です。web説明会ツールは「30～100人規模での配信」に向いているのに対して、web面接ツールは「顔を見合わせて双方向でやり取り」できることが特徴です。

■web面接ツールの一般的な機能

・顔を合わせた双方向のコミュニケーション

web説明会ツールと比べると、web面接ツールに最低限必要な機能はシンプルです。社内のweb会議などのシステムとも近いイメージです。もちろんweb面接に特化したツールの場合、「スケジュール管理や日程調整」「コメント・評価、録画（次の面接官への引継ぎ）」「選考のステータス管理」「履歴書等のＵＰや紐づけ」「複数対複数のグループ面接」「候補者側からの動画アップ」「応募者への事前・事後アンケート」など、便利な機能がさまざまあります。自社でどこまで必要かを吟味したうえで、まずは“小さく試してみる”ことをお勧めします。

Web
説明会・面接ツール

■ツールを選定するうえでの2つのチェックポイント

・「機能」の比較

機能が豊富なほど良い、わけではありません。「自社でどのように使うか？」から考えることがポイントです。とくに面接ツールについては、「選考全体の管理をどうするか？」「web面接をどれぐらいの件数するのか？」が検討するうえで重要です。

例えば、「地方の学生や希望者だけweb面接で対応する」「採用管理ツールやexcelで採用管理は出来ており、特に困っていない」といった場合、機能が豊富にあると、逆にオーバースペックである可能性も高いです。一般的に機能が充実すれば金額も高くなりますので、必要最小限を考えることがお薦めです。

・「応募者の使い勝手」

機能と並んで重要なのが応募者の使い勝手です。以下のポイントを確認してください。

- スマフォ対応
  スマフォ対応に関しては、ほぼ100％しているでしょう
- 使えるブラウザの制限
  「chromeでしか使えない」「safari対応していない」等の場合があります
  chrome、safari、IEを網羅していると殆どのユーザが使えます
- アプリのインストール
  「PCだとブラウザで使えるが、スマフォだとアプリをダウンロードしないといけない」といった場合もあります。
- アカウント作成の必要有無
  応募者の負担になりますので確認しましょう。

つまり「①スマフォで、②ブラウザの制限なく、③アプリインストールやアカウント作成をしないでURLをclickするだけで使える」ことが理想です。

クラウド系のツールでは、「契約期間は1年間」であるツールも多くあります。ただし、トライアル利用できるツールもありますし、今回の新型コロナウイルスの感染拡大に対応して、期間限定で無償利用ができる会社もあります。ツール選定や商談に時間をかけるよりは、**まずはトライアルを申し込んで、人事の方同士や社内でいくつか試してみる**ことをお勧めします。

＜web説明会で使えるツール＞

※ロゴをクリックすると各サービスサイトを開けます

	費用	参加上限	制限など
zoom（基本）	無料	100人	・1対複数配信は40分/回まで ・アプリインストールが必要
zoom（プロ）	2000円/月	100人	・主催者を1アカウントのみ作成できる
zoom（ビジネス）	2700円/月	300人	・主催者は10アカウント作成できる
Cocripo（フリー）	無料	3人	・1回60分、月間30時間まで ・chrome/アプリ利用が必要 ・専用ツールであり、使い勝手や安定接続に優れる
Cocripo（ビジネス）	30,000円/月	100人	・月間10時間まで(追加は3000円/Hで5H単位で購入) ・初期費3万円と1か月間の無料提供中（～3月31日）
LOGOSWARE GigaCast プリペイド制	40,000円（5,000pt）	500人	・”1人に1分配信で1pt必要” 10人×60分を1開催＝600pt （追加購入可能）
im interview maker スタンダード	89,800円/月	8人	・「web面接」が主機能 ・3月31日まで無償提供中
Cisco webex Starter	1,700円/月	50人	・web会議機能が主であり、資料共有等は弱い

この他、skypeなどでもweb説明会を開催可能ですが、接続の安定性やサポート、web説明会の配信ツールとしての機能を考えると、 cocripoが好バランス。web面接ツールと統一したり、顔をあわせての説明会を好むならインタビューメーカーも選択肢です。

JAICWHITEPAPER

＜web面接で使えるツール＞

※ロゴをクリックすると各サービスサイトを開けます

	費用	特徴・制限など
im interview maker ベーシック	39,800円/月	・web面接用に作られたサービス ・初期費用あり ・3月31日まで無償提供中
im interview maker スタンダード	89,800円/月	・グループ面接や録画面接、評価シートの作成や履歴書登録が可能 ・3月31日まで無償提供中
HARUTAKA	5万円～/月	・web面接用に作られたサービス ・登録人数で月額が変動 ・初期費用50万円（3月末まで無料）
HireVue	15万円～/月	・web面接用に作られた米国サービス ・応募者側からの動画登録や、AI選考等に対応
zoom	無料	・webコミュニケーションツール
skype	無料	・webコミュニケーションツール
Googleﾊﾝｸﾞｱｳﾄ	無料	・Googleのコミュニケーションツール ・モバイルではアプリが必要
Cisco webex Starter	1,700円/月	・無料版はmtg/回が最長40分の制限あり

上段の「web面接ツール」は専用に作られていますので、使い勝手やセキュリティ面で優れています。一方で、「本格的にweb面接を導入する」という形ではない場合には少しオーバースペックになる部分もあるかも知れません。「web会議ツール」」は殆どが無料で使えますが、「会話できる」という単機能になります。自社での利用方法に応じて検討してください。

JAICWHITEPAPER

■最後に

いかがでしたでしょうか？
新型コロナウイルスの感染拡大に伴って注目が集まるweb説明会やweb面接。今後、5Gなどの普及でさらに通信の安定性が高まれば、浸透は間違いありません。また、地方学生、ゼミへの滞在時間が長い理系学生、多忙な優秀学生と接点をとるにはweb説明会、web面接は最適です。今回を機に、ぜひトライアルいただくと良いと思います。

■JAICWHITEPAPERについて

JAICWHITEPAPERでは、変化の激しい新卒採用市場の「今」や採用ご担当者様からいただくリアルな声を元にして、より今の採用活動が前進するようなお役立ち情報を発信してまいります。

『採用ご担当者様の“情報収集の時間”を少しでも短縮し、採用ペルソナの設計、自社の魅力抽出、そして、学生とのコミュニケーションに時間を割けるような貢献をしたい。』
これが私たちJAICの願いです。

引き続き採用ご担当者様のお役に立てるような情報発信を行って参りますので、
どうぞよろしくお願い致します。

■問い合わせ

株式会社ジェイック　Future Finderメディア事業部
Mail：ff@jaic-g.com
TEL：03-5282-7603
Future Finderについて：http://j.futurefinder.net/lp/biz03/